

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

11月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

令和元年度医科歯科連携研修会に参加して

令和元年9月27日、当センター医療研修センターで令和元年度医科歯科連携研修会が開催されました。

本研修会は鹿本圏域の医療従事者の口腔ケアへの理解を深めることを目的として、山鹿市歯科医師会と共催で年1回開催されています。今回は「がん医科歯科連携における口腔ケア」をテーマに、山鹿市歯科医師会会長の宮坂 圭太先生をはじめ、歯科医師、歯科衛生士、看護師を含む多数の参加がありました。

今研修会では、がん治療が及ぼす口腔内のトラブルという観点から、がん治療の口腔ケアの意義について、サンスター株式会社 歯科衛生士 大津 朱里先生の講演がありました。

がん手術では、時として術後に肺炎や局所の感染・治癒不全等が出現しますが、その発症には口腔内細菌や口腔機能低下が関与すると考えられており、術前に歯科衛生士による口腔衛生指導や専門的な口腔ケアを受けることが、術後の合併症の軽減や栄養状態の維持に繋がるとされています。また、抗がん剤治療には口腔内のトラブルが付きもので、口腔乾燥症、味覚障害、粘膜感染など様々な症状が出てきます。そういった症状で経口摂取ができなくなり、体重減少や免疫力低下に繋がってしまうこともあるため、口腔内の衛生を保つことが重要とされています。そのため、がん手術と同様に上記ケアを受けることが、合併症の軽減や栄養状態の維持に繋がるため、抗がん剤治療やがん手術の2週間前までに歯科治療を済ませておく事が望ましいとされています。

当センターでも抗がん剤治療やがん手術を行っていますが、口腔内乾燥、味覚障害や口内炎等の口腔内の

トラブルを併発される患者さまもいらっしゃいます。そのため、治療を開始する前から医科と歯科が連携をとり、口腔内の評価・口腔内清掃・ブラッシング指導などを行うことで、術後に起こりうる口腔内常在菌が関係する局所合併症やその発生頻度を低下させ、抗がん剤治療に伴う口腔粘膜炎のトラブルを可能な限り軽減し、治療効果の向上を目指しています。

栄養サポートチーム(NST)では、口腔ケアの充実を本年度の目標に掲げて業務に取り組んでいます。今研修会を受け、がんの患者さまに限らず当センターには誤嚥性肺炎の患者さまも多いことから、口腔ケアの重要性・必要性を再認識しました。これからも医科歯科連携、院内の多職種連携を図りながらケアの充実に努めて行きたいと思えます。

(文責：栄養サポートチーム(NST)看護師 山口 美佳)



基本理念 いのち 地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

令和元年度医科歯科連携研修会に参加して …… P 1
 就任あいさつ・メディカルネットワークについて … P 2
 医療最前線 (118) …… P 3
 医療安全対策地域連携相互チェック(阿蘇医療センター)… P 4
 公開特別講演会・市民公開講座 …… P 5
 公開薬剤師研修会・エンゼルケア勉強会 …… P 5
 外来担当医表 (11月) …… P 6

就任挨拶



眼科
正林 耕平 先生

10月より、前任の草野先生に代わりまして山鹿市民医療センター眼科に赴任いたしました正林と申します。これまで熊本大学病院、熊本中央病院、くまもと森都総合病院に勤務して参りました。

山鹿へは、大学院生の時に診療のお手伝いのため数年間毎週通っていたことがあります。また、眼科分子生物学会という眼科基礎研究の会を日本中

から先生方を集めて山鹿の地で開催させていただいたこともあり、個人的に非常にお世話になった場所です。

初めての一人での眼科診療ですが、これまでの経験を生かし、先生方や地域の皆様に貢献できるよう頑張る所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます



くまもとメディカルネットワークの推進について

つばさ令和元年5月号(128号)に掲載しました「熊本県地域医療連携ネットワーク」の構築に向けた取り組みの一環として、熊本県・熊本県医師会・熊本大学病院が推進している「くまもとメディカルネットワーク」について、当センターでは11月下旬から患者同意書(参加申込書)の受付を開始します。今回、より多くの患者さまに知ってもらう機会となるよう、外来受診の患者さまを中心に、推進期間を設け、患者さまにかかりつけ医と紹介先医療機関との間で情報を共有するメリットを呼びかけ、参加を促します。

また、医師会の先生方や医療機関にとっても下記のようなメリットがあります。

●情報の充実

共有情報にアクセスすることで、他院の処方歴、病歴等がすぐに参照でき、質の高い医療が提供できます。医療機関同士の患者情報交換に際しても、共有した情報をもとに、より深く正確にコミュニケーションができます。

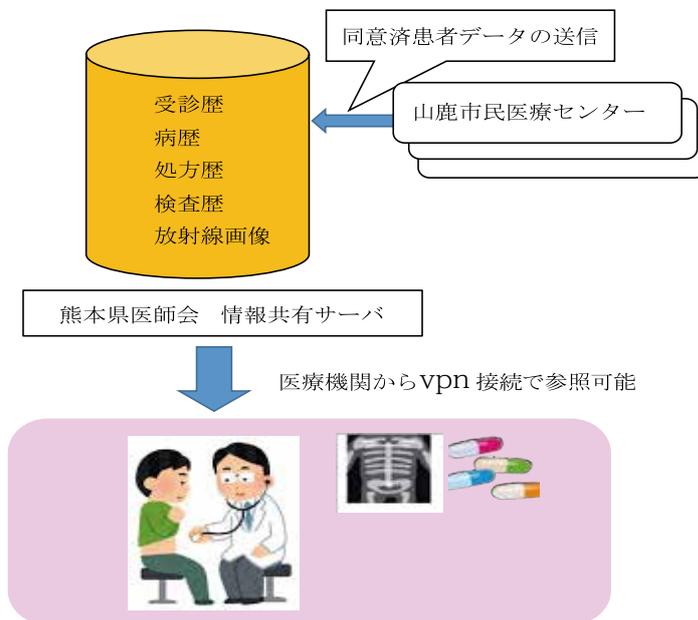
●セキュリティ面

熊本県医師会のサーバへのアクセスはvpn接続を用い、医師資格証とパスワードの2元認証(医師以外の職種も専用カードを使用)を備えているため、

情報漏えいの心配がありません。

患者さまの参加人数を増やす事が、くまもとメディカルネットワークの構築成功のカギとなります。鹿本圏域の拠点病院として地域医療のさらなる充実を目指してまいりますので、地域の医療機関の先生方におかれましては、今後ともご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(文責：医事課主任 安永 和広)



医療最前線 (118)



変形性股関節症ガイドラインから

整形外科 高木 茂 先生

日本整形外科学会及び日本股関節学会監修の変形性股関節症ガイドラインより、疫学、自然経過、病態などについてご紹介いたします。単純X線診断による変形性股関節症の有病率は1.0~4.3%で、男性は0~2.0%、女性は2.2~7.5%と女性で高いといわれています(Grade B)。発症年齢は平均40~50歳です。疫学調査による有病率は、海外と同じ診断基準を用いた場合には1.0~2.4%であり、欧米より低く、中国、韓国と同程度です(Grade A)。変形性股関節症の発症には遺伝の影響はあるといわれています(Grade B)。

本邦では重量物作業の職業、寛骨臼形成不全が変形性股関節症の危険因子です(Grade B)。欧米では重量物作業や長時間の立ち仕事などの職業(Grade A)、寛骨臼形成不全、アスリートレベルのスポーツ、肥満が変形性股関節症の危険因子です(Grade B)。

欧米では高齢、肥満、股関節痛、病期としてKellgren and Lawrence グレード2以上(Grade B)が進行の予測因子です。

寛骨臼形成不全による変形性股関節症においては、大腿骨頸部前捻角の増大とその個体差が大きいことや、頸部長の短縮が特徴的な骨形態です(Grade B)。

寛骨臼形成不全による変形性股関節症においては、寛骨臼前壁及び後壁の低形成、腸骨翼の形態異常が特徴的な骨形態です(Grade B)。関節裂隙の狭小化は疼痛に関連します(Grade B)。寛骨臼形成不全の程度は疼痛に関連します(Grade B)。

股関節痛のある寛骨臼蓋形成不全による変形性股関節症の大部分に関節唇損傷を認めます(Grade B)。変形性股関節症と全身の骨粗鬆症との関連について一致した結論は見出されていません(Grade I)。寛骨臼形成不全による変形性股関節症では骨盤傾斜と腰椎前彎が増強します(Grade B)。高齢発症(およそ60歳以上)の変形性股関節症では骨盤後傾と腰椎後弯の頻度が高くなる(Grade B)。変形性股関節症では骨盤側傾と腰椎側湾が伴いやすい(Grade B)。急速破壊型股関節症は1年以内の短期間に大腿骨頭および寛骨臼の破壊が急速に進行する疾患の総称とされ、変形性股関節症との関連は明らかではありません(Grade I)。変形性股関節症と全身性変形性関節症との関連は明らかではありません(Grade I)。

本邦における二次性変形性股関節症の原因は、寛骨臼形成不全が80%以上です(Grade A)。現時点で世界的にコンセンサスの得られている変形性股関節症の明確な診断基準は存在しません。大規模な疫学調査では、いくつかのX線学的病期分類や最小裂隙幅、米国リウマチ学会の基準などが診断基準として主に用いられています。

	前期	初期	進行期	末期
関節裂隙	ほとんど狭小化無し	軽度 - 中等度の狭小化	高度の狭小化 軟骨下骨の接触	関節裂隙の 広範な消失
骨構造	骨梁配列変化	臼蓋の骨硬化	臼蓋の骨硬化 臼蓋・骨頭の 骨嚢胞	広範な骨硬化 巨大な骨嚢胞
臼蓋・骨頭変化	先天性・後天性の 変化あり	軽度の骨棘形成	骨棘形成あり	著名な骨棘形成 臼蓋の二重像 臼蓋の破壊

『医療安全対策地域連携に係る相互チェック』を実施しました

2018年度の診療報酬改定により、医療安全対策に関する医療機関間の連携を目的とした医療安全対策地域連携加算が新設されました。加算の施設基準として、医療安全対策地域連携加算の届出を行っている他の医療機関と連携し、少なくとも年1回程度、医療安全対策に関する評価を相互に行うことが要件の一つとなっています。

今回は9月18日に、昨年度に続き阿蘇医療センターとの相互チェックを実施するため、阿蘇医療センターから甲斐 豊病院事業管理者兼院長をはじめ医療安全を担当する4名の方にお越しいただき、当センターの医療安全対策に関する訪問調査を実施していただきました。調査は、「医療安全相互チェックシート」を基に行われ、聞き取り調査において、医療安全管理体制の整備、患者誤認防止対策、インフォームド・コンセントなどの取り組みについて質問があり、当センターの医療安全担当者が回答を行いました。

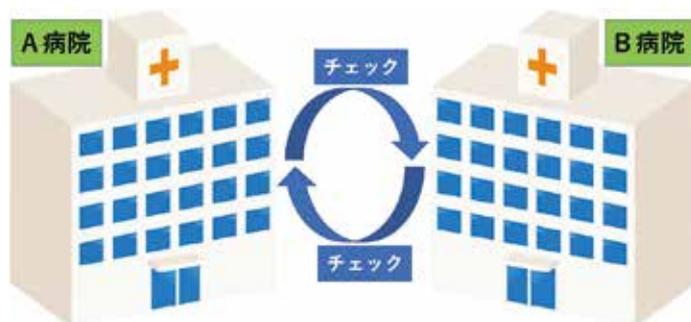
院内ラウンドでは、3階病棟・救急外来の医療安全環境や対策実施状況の調査が行われました。本年度は、「薬剤管理」に関して「処方から服薬」までの各プロセスにおける改善案を共有することを個別テーマとして、ラウンドの際は、実際の薬剤管理状況について質問され、薬剤師や救急外来担当が回答しました。

阿蘇医療センターからは、①看護師の静脈注射

に係る実施基準 ②患者参加型の誤認防止対策 ③マニュアルの整備（窒息・自殺）への助言をいただき、総評としては「当院でも取り入れていきたい内容も多く、大変参考になりました。」と評価をいただきました。今後、更なる改善に向け対策を検討していく予定です。

今回は2度目の訪問調査ということもあり、お互い和やかな会話の中で、当センターが気づきにくい詳細な点などについてアドバイスしていただくことができました。阿蘇医療センターの皆様には、大変お忙しい中、当センターまでお越しいただき心より感謝しています。相互チェックの中でいただいた貴重なご意見などを、医療安全対策の質の向上に繋げるとともに、今後も阿蘇医療センターとの連携を大切にしていこうと思います。

(文責 医療安全管理室 辻崎 小百合)



原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

ご案内

第44回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
60.腰痛 62.歩行障害 77.骨粗鬆症

下記により第44回公開特別講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市民病院事業管理者 豊永 政和
記

日時：令和元年11月8日(金) 19:00～

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題：「骨粗鬆症の病態と治療」

座長：山鹿市民医療センター

副院長 高木 茂 医師

演者：熊本大学大学院 生命科学研究部

整形外科学分野 教授 宮本 健史 先生

会費：無料

お問い合わせ先 📍山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 樋口、迎田
TEL：0968-44-2185 (内線608)

第22回公開薬剤師研修会のご案内

(日本薬剤師会研修1単位認定)

下記により第22回薬剤師公開研修会を開催致します。
院外からの多数のご参加を歓迎いたします。

記

日時：令和元年12月6日(金) 19:30～21:30

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題：「薬剤乱用防止教育の進め方」

座長：きらきら薬局 薬剤師 逆瀬川 剛 先生

演者：横浜薬科大学臨床薬学科/臨床薬理学研究室

実務実習センター講師 田口 真穂 先生

会費：無料

お問い合わせ先 📍山鹿市民医療センター
薬剤科 金森
TEL：0968-44-2185 (内線771)

山鹿市民医療センター第4回市民公開講座

がんを考える-がんの予防、最新治療から緩和ケアまで

日時：令和元年12月7日(土)
開演10時 閉演12時

場所：山鹿市民交流センター 文化ホール(市役所隣り)

参加費：無料

【講座プログラム】

(1) がんの予防と生活習慣病

山鹿市民医療センター

代謝内科長 川崎 修二

(2) がんの最新治療

①内視鏡治療

山鹿市民医療センター

消化器内科長 千代永 卓

②薬物治療

熊本大学病院

外来化学療法センター長 陶山 浩一

③進行度に応じた外科手術

山鹿市民医療センター 外科長 赤星 慎一

(3) がん患者さんのこころのケア・緩和ケア

山鹿市民医療センター 外科医長 佐藤 伸隆

(4) 本日のまとめと質疑応答

山鹿市民医療センター 院長 別府 透

お問い合わせ先 📍山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 樋口、迎田
E-mail:hp-soumu@yamaga-mc.jp
TEL：0968-44-2185 (内線608)

主催：山鹿市民医療センター
共催：山鹿市

公開エンゼルケア研修会のご案内

日時：令和元年11月21日(木) 17:45～19:00

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

エンゼルケア

～死後変化にそったご遺体のケア～

内容 ①ご遺体の変化と基本的ケア

②基本のエンゼルメイク(実技演習あり)

講師：緩和ケア病棟看護師

大坪 美香、足達 愛

参加費：無料

医師・看護師・コメディカルの皆様
興味のある方のご参加をお待ちしております

お問い合わせ先 📍山鹿市民医療センター
緩和ケア病棟師長 堤 里美
TEL：0968-44-2185 (内線737)

外来担当医表

11月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	※陶山 浩一	—	—
消化器内科	千代永 卓 本原 利彦	柚留木 秀人	本原 利彦	千代永 卓 柚留木 秀人	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 松原秀太/中西浩一郎	工藤 智志 松原 秀太 中西 浩一郎	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 木下 浩一
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※山崎 浩藏	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美	—	※石井 真美 予防接種(午後)	※石井 真美	—
セ ン タ ー 器	耳鼻咽喉科	—	※深見 直美	—	※非常勤医師
	眼科	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平
産婦人科	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗
※片渕美和子(午後) 11/5(火)、12(火)、14(木)、19(火)、28(木)					
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までをお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

11月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜(11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	11/5(火)、12(火)、14(木)、19(火)、28(木)	
PEG外来	担当医	隔週 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>